

第 69 回全日本トラックレーススピード選手権大会開催 要項

兼 WORLD ROLLER GAMES 2024(世界選手権大会/イタリア)トラック競技選考会

主 催 : 一般社団法人 ワールドスケートジャパン

主 管 : 東京都ローラースポーツ連盟

協 力 : 江戸川区ローラースケート連盟

会 場 : 東京都江戸川区東篠崎 2 丁目 3 番先(旧江戸川河川敷内)

水辺のスポーツガーデンローラーコート

日 時 : 2024 年 4 月 13 日 (土)

午前 8:30 公式練習 午前 9 時 受付開始 午前 10 時 開会式後競技開始

2024 年 4 月 14 日 (日)

午前 8 時 公式練習 午前 9 時 競技開始

1. カテゴリー

① シニアクラス (男・女)

- ・ 200m タイムトライアルレース
- ・ 500m+D スプリント
- ・ 1,000mスプリント
- ・ 5,000m ポイントレース
- ・ 10,000m エリミネーションレース

②ジュニアAクラス (男・女)

- ・ 200m タイムトライアルレース
- ・ 500m+D スプリント
- ・ 1,000m スプリント
- ・ 5,000m ポイントレース

・10,000m エリミネーションレース

③ ジュニアBクラス (男・女)

・200m タイムトライアルレース

・500m+D スプリント

・1,000mスプリント

・5,000m ポイントエリミネーションレース

④ ジュニアCクラス (男女同走)

・500m+D スプリント

・1,000mスプリント

※ 申し込みは、レース毎とする。

2. 競技方法

競技は一般社団法人ワールドスケートジャパンスピードルールとする。

※別途ルール説明会を開催します。

3. 表彰

各種目1位～3位 メダル・賞状

4. 参加資格

※のクラスが国際大会選考対象とする。

① シニア ※本年12月31日時点で19歳以上になる選手

② ジュニアA ※本年12月31日時点で15歳から18歳の選手

③ ジュニアB 本年12月31日時点で10歳から14歳の選手

④ ジュニアC 本年4月1日に小学1年生から12月31日時点で9歳の選手

*シニア・ジュニアクラスは参加選手が7名未満の場合は合同クラスとして実施するが、表彰はカテゴリー別とする。

*中学生以上は選手登録のこと。

*2024年度選手登録と大会申込は、3月1日から受付開始します。

5. 参加費

- ・シニア/ジュニア A クラス 8,000 円
- ・ジュニア B クラス 6,000 円
- ・ジュニア C クラス 4,000 円

6. 申込先、問合せ先

一般社団法人 ワールドスケートジャパンスピード委員会

mail : speed@worldskatejapan.or.jp

7. 連盟登録

一般社団法人ワールドスケートジャパンホームページ内 [登録申請] よりお手続き下さい。(2024年3月から登録ができます。)

<https://worldskatejapan.or.jp/about/registration/>

8. 締切

2024年3月13日(水) 必着

9. 振込先

三菱UFJ銀行 池袋支店(店番号 359) 普通 0468339

一般社団法人ワールドスケートジャパン スピード委員会

10. その他

- ・参加者は同意書を大会申込時に全員ごメールに添付し提出ください。
※未成年の選手(18歳以下)は、同意書に保護者の承諾サインが必要です。
- ・宿泊は各自で手配ください。
- ・申込後の不参加・雨天中止になった場合、参加料はお返し致しません。
- ・大会として保険に加入しますが、すべてをカバーするものではありません。

【大会の中止について】

- ・天候により競技開催が危険と判断された場合は中止とします。・江戸川区よりスポーツイベント開催の中止要請があった場合は、当日でも大会は中止とします。

- ・大会の中止はワールドスケートジャパンのホームページ及び Facebook で告知します。

以 上

2024年1月1日

日本代表候補及び代表選考基準

一般社団法人ワールドスケートジャパン

スピード委員会 桑野 裕司

2024年度の世界選手権大会日本代表選手選考基準は下記の通りとする。

世界選手権大会（World Roller Games：WRG）イタリア大会

2024年9月初旬開催予定。

費用見込み 60万～70万円程度。大会参加航空運賃・宿泊費・現地食費・交通費などを含む。別途ユニフォーム代金等がかかります。

※本基準による選考結果を他の国際大会の選考に使用することがあります。

【基本ルール】

- 選考選手は日本代表としてふさわしい行動をとれる選手とする。
- 海外での合宿、大会参加をする場合には所定の書式にてワールドスケートジャパン会長宛、ccでスピード委員会宛に事前に申請、承認を得ること。また終了後1か月以内に所定書式で報告書を提出する事。
- 他団体の主催、開催する大会へ出場する場合には所定の書式にてワールドスケートジャパン会長宛、ccでスピード委員会宛に事前に申請、承認を得ること。
- スピード委員会からの指定課題（合宿課題・大会参加報告等）、連絡事項への返信（受信確認を含む）の期限は必ず守ること。
- これらの基本的なルールが守れる者。

【選考基準】

- ① 世界選手権及び他の国際大会
 - i. 選考大会 トラック種目は全日本トラックレース選手権大会、ロード種目は全日本ロードレース選手権大会での選考とする。但し、天候等によりどちらかの

大会が開催できず選考ができなかった場合は、開催できた大会の成績を参考に選考する。

- ii. 選考対象選手（ア）日本国籍を有する者である事（イ）全日本選手権大会でシニア・ジュニアAカテゴリーに参加の選手とする。
- iii. 選考基準 各種目上位 1 位、2 位を基本とし、タイムやレース内容により選考しないこともある。
- iv. 選考人数 男女、ジュニア・シニアそれぞれ 6 名を最大選考人数とする。（合計 24 名）

【選考大会並びに種目について】

- ① 選考は各種目別で実施し、大会では選考された種目に出場する。選考後に選考種目の出場を辞退する場合は速やかに本人よりスピード委員長宛書面をもって報告をすること。
- ② 選考大会・種目について選考対象選手は事前に申請する。申請は大会申込書で行い、変更は大会 1 日目の前日まで可能とする。
- ③ 選考種目の辞退者が出た場合は繰り繰上げとする。

<補足>事前に 10,000m、15,000m のみの選考を申請した選手はそれ以外の種目で上位に入った場合でも対象以外の種目では選考しない。

- ③ 選考希望種目については制限しない。

【強化合宿】

代表チーム・選手育成合宿を次の通り行う。

➤ 2024 年 5 月 3 日～5 日（恵那）

➤ 夏季合宿・冬季合宿（詳細未定）

- i. 合宿への参加を辞退する選手はその理由をスピード委員会に報告する事。尚、不参加の者に関しては次年度以降代表選考の対象外とする可能性がある。次年度以降代表選考対象外とするかはスピード委員会で不参加の理由を審議しこれを決定する。

以 上

WSJ スピード競技 技術規則(2024 年度版)

2024 年 1 月 31 日 Draft Ver 0.3

WSJ スピード委員会

目次

はじめに	2
スケーターの資格	2
Sec2. 競技規則	3
技術規則	4
競技の一般規則	4
スケーター	6
距離とレースの種類	8
レース	13
審判団	22
審判	23
懲戒	33
略語	35

はじめに

本ルールブックは2024年3月1日から適用とする。

本ルールブックはワールドスケートスピード技術委員会の発行する「SPEED TECHNICAL COMMISSION RULEBOOK 2024」（以降、国際規則と称す）に基づき、ワールドスケートジャパン（WSJ）で開催する国内大会向けに作成した競技規則である。

各項目の項目番号は国際規則の条文番号（art. xx）に対応している。

国際規則は下記から入手可能である。

<https://www.worldskate.org/speed/about/regulations.html/regulations.html>

10.5 このルールブックに含まれていない事項は、WSJスピード委員会によって解決される。また、本ルールブック中「基本とする」と表現している箇所については、大会運営の状況を考慮して適用除外を認めるものとする。

スケーターの資格

22. 年齢

本規則に定められている年齢制限はすべて、競技会開催年の12月31日時点のものとする。ジュニア、シニア、マスターの3つのカテゴリーに分かれている。

22.1 ジュニアスケーターは、15、16、17、18歳である。

シニアスケーターは、19歳以上とする。

マスターカテゴリーの年齢は、40歳未満（39歳まで）、50歳未満（40～49歳）、60歳未満（50～59歳）、60歳以上である。

36. アンチドーピング規則

ドーピング管理に関しては、WADA およびワールドスケートアンチドーピング規則を準用する。

SECTION 2. 競技規則

競技種目を下記に示す。但し、実施種目は各大会の大会要項に準ずる。

トラック種目：

- 200m デュアルタイムトライアル
- 500m+D スプリントトーナメント
- 1,000m スプリントトーナメント
- 5,000m ポイントレース
- 10,000m エリミネーションレース
- 3,000m リレーレース

ロードレース種目：

- 100メートルスプリントトーナメント
- 1周スプリントトーナメント
- 10,000m ポイントレース
- 15,000m エリミネーションレース
- マラソン

59.3 レース実施の手順

d. スケーターはエントリーしたレースに参加する必要がある。スケーターがそれを行わない場合、そのスケーターはその競技会から除外される。不参加のスケーターについては審判団に申し出ること。

e. 1,000m スプリントで規律違反による失格 (DQ-DF) の場合、違反した長距離スケーターは次の長距離レースへの出場停止となる。

技術規則

競技の一般規則

66. レースコース

69. レースの方向

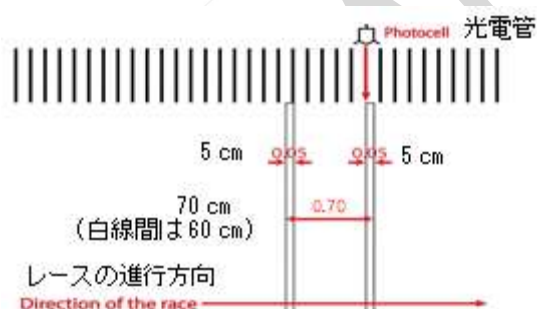
トラックまたはロードのクローズドサーキット競技では、レースの方向は反時計回りとする。

70. スタートライン

70.1 スタートラインは幅 5cm の白線でマークされる。ロードサーキットでは、各レースのスタート地点は、最初のカーブの少なくとも 20~30m 以内の平坦な場所の配置を基本とする。

70.2 100m の場合、スタートラインは、2、3、4 コースの等しいスタート地点 (幅 2.60m) を定める。第 2 ラインは、スタートラインから 70cm のところに引かれる。

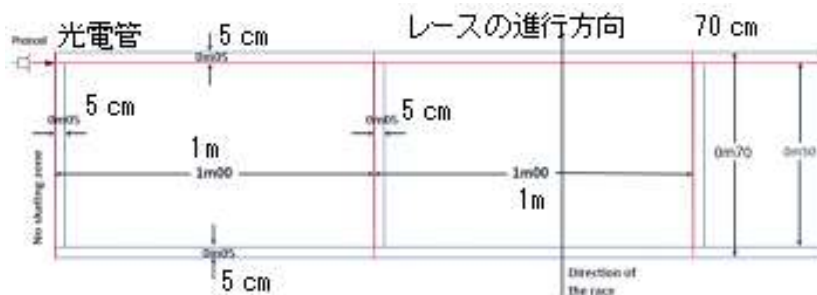
70.3 トラックの 200m レースでは、スタートラインから 70cm の位置に 2 番目のラインを引く。このバックラインは白以外を基本とする。光電管は白いスタートラインの内側に配置する (図を参照)。



70.4 1,000m の場合、2 番目のラインはなく、1m のスタート地点を区切る横方向の均等に配置されたラインのみがマークされる。

500m+D、1,000m、1 周レースでは、スタートラインは同じ幅の 1m の BOX である。図参照。

6m 以下の幅のトラックの場合、6 つの BOX は当分される。



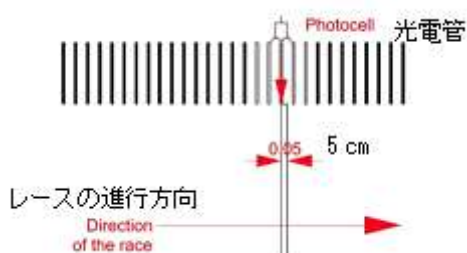
70.6 ロードレースの1ラップレースでは、直線が足りない場合、スタートラインの位置を変更できる。スタートラインとフィニッシュラインは同じである。

71. フィニッシュライン

71.1 フィニッシュラインは幅5cmの白線である。この線のゴール側の端は、着順を決定するラインである。スピードトラックでは、フィニッシュラインは直線の長さの3/4に等しい最小距離で、いずれの場合もカーブの開始前の平坦な場所を基本とする。



71.3 スケーターのフィニッシュ判定はこのラインの内側エッジで決まる。光電管はフィニッシュラインの内側エッジに配置される（図を参照）。



71.4 ロードサーキットでは、フィニッシュラインは最低60mの直線の後を基本とする。

78. タイムの発表

個々のレースにおける各スケーターのタイムは、フィニッシュ後速やかに発表される。

79.2 公式タイムに対する質問は許可されない。

80. 録画

80.1 録画及びそれを使用した判定については大会主催者で設置することを基本とする。

80.5 公式録画のみが使用される。個人的な録画は受け入れられない。

スケーター

各スケーターは、レーシング スーツ、ヘルメット、スケート靴、ゼッケン、その他の装備に関する規則を守ることに個人で責任を負う。これらのルールを遵守しないスケーターは、テクニカルフォールト (DQ-TF) により失格となる。

82.4 スケーターは、表彰式においてスケート靴と公式なレーシングスーツを着用する必要がある。帽子及びサングラスの着用は認められない。

82.5 ヘルスケアのフェイスマスク(フェイスガード)及びグローブは許可されている。

84. ヘルメット

ヘルメットは国際認証を取得したハードギアであることを基本とする。

84.1 複数人数でのスタートのレースにおいては、ヘルメットは標準的な形状で、突起や先端がないものでなければならない。

84.2 タイムトライアルレースでは、ヘルメットは突起や先端があるものも使用可能である。

84.3 各スケーターは、スケーターの最大限の安全を確保するために、自分の個人用装備が最高の安全基準を満たしていることに対して個人で責任を負わなければならない。

84.4 ヘルメットは、メーカーの安全指示に従って、レースコースにいる間は常に頭にしっかりと固定されていなければならない。

84.5 ヘルメットを外したスケーターは失格となる。

85. スケート

85.1 最大5つのウィールが一行に固定されているスケート、または2対のウィールが互いに平行に固定されているスケートが使用可能である。スケートの長さは50cmを超えてはならない。スケートは靴にしっかりと装着されている必要があり、車軸は車輪から突き出していない。ブレーキは禁止する。

85.2 ウィールの最大直径は、110ミリメートルを超えてはならない。

85.3 マラソンの場合、ウィールの最大直径は125ミリメートルを超えてはならない。

85.4 ジュニア B, C についてのウィールの使用制限は設けないが、安全性の観点から選手の技量を鑑み適切なウィールを使用すること。

86. ゼッケン

スケーターは、大会毎に指定されたゼッケンを指定された位置に着用すること。適切に装備されていない場合、レースを開始することはできないことがある。

87. その他の機器

87.1 心拍計と対応する時計は許可される。

87.2 無線機とイヤホンは禁止する。

87.3 石膏、合成石膏、または硬い道具を装着してスケートをすることは許可されない。

87.4 審判には、スケーターに、自分自身または他のスケーターに危険をもたらす可能性のあるアイテム(装身具等)を脱ぐように依頼する権限がある。

87.5 20km以上のレースの場合、スケーターは小さなペットボトルの水または水分補給に適合した道具を持ってスタートすることができる。

DRAFT

距離とレースの種類

108. レースの公式距離

トラック、ロードレースで、公式の距離は次を基本とする。

100-200-300-500-1,000-3,000-5,000-10,000-15,000-20,000m。

マラソン(42,195 km)は、ロードでのみレースが行われる。

距離、種目は大会の設定に基づく。

109. レースの種類

レースには長距離と単距離の2種類がある。

Type	Races
Short Distance	200 m Dual Time Trial 300 m Time Trial Team Time Trial 100 m Sprint 500 m + Distance Sprint 1 Lap Sprint 1,000 m Sprint Individual Pursuit
Long Distance	Elimination Points Points-Elimination Relay Endurance Team Pursuit

112. 200m デュアルタイムトライアル

121.1 200m デュアルタイムトライアルはトラックで実施される。スケーターは2人ずつで競う。スタートラインとフィニッシュラインはストレートの中央にある。スタート手順はスプリントレースと同じである。

参加人数を加味し、単独で実施することがある。

113. スプリントレース

113.1 スプリントトーナメントは、決勝に進むために一定数のラウンドを伴う短距離レースで開催される。

実施方法については要綱に基づく設定を優先する。

113.2 スケーターの数とレースコースの幅に応じて、予選、決勝が設定される。

113.3 第1ラウンドでは、ベストタイムのみが進出できる。(タイム順での決定)しかし、1,000m スプリントには特定のルールが適用される。

113.3 すべてのラウンド及び決勝で、スケーターはコールされた順にライン上のスタート位置を選択する。

尚、最初のスプリントレースのヒート設定、コール順は、直前のタイムトライアルレース等の着順を使用する。直前のレースがない場合については、抽選等を使用して決定する。

114. 100m スプリントトーナメントの一般ルール

114.1. 直線距離 100m の道路を 130m 以上走るレース。決勝戦は 2 人、3 人、または 4 人* のスケーターによって実施する。

114.2. 予選はレースコースの幅に応じて作成され、ヒートは 2 人、3 人、または 4 人のスケーターで実施される。

114.4 最初のラウンドでは、タイム順で進出するスケーターを決定する。

114.5 続くラウンドは、勝者のベストタイムに従って決定される。

114.6 他のスケーターは、ヒートの中のタイム順に順位が決定される。

114.7 ヒートは、次の方法に従って設定される。

¼ Final		1/2 Final		Final
Engaged		Qualified		Qualified
Heats		Heats		
9 skaters		9 best times	3 x 3	3 winners In final
10 to 12	4 x 2-3			
13 to 15	5 x 2-3			
16 to 18	6 x 2-3			
19 to 21	7 x 2-3			
22 to 24	8 x 2-3			
25 to 27	9 x 2-3			

1/8 Final		1/4 Final		1/2 Final		Final
Engaged	Heats	Qualified		Qualified		Qualified
		Heats		Heats		
28 to 30	10 x 2-3	15 best times	5 x 3	5 winners 4 times	3 x 3	3 winners In final
31 to 33	11 x 2-3					
34 to 36	12 x 2-3					
37 to 39	13 x 2-3					
40 to 42	14 x 2-3					
43 to 45	15 x 2-3	21 best times	7 x 3	7 winners 2 times		
46 to 48	16 x 2-3					
49 to 51	17 x 2-3					
52 to 54	18 x 2-3					
more	X heats					

**In case there are four lanes, the Chief Judge will announce the corresponding protocol.*

補足

3 レーン、参加人数が 9 人以下の場合、第一ラウンドはタイム順による通過(3 人)、決勝は着順による順位決定となる。

115. 500m+D 1 ラップスプリントトーナメントの一般ルール

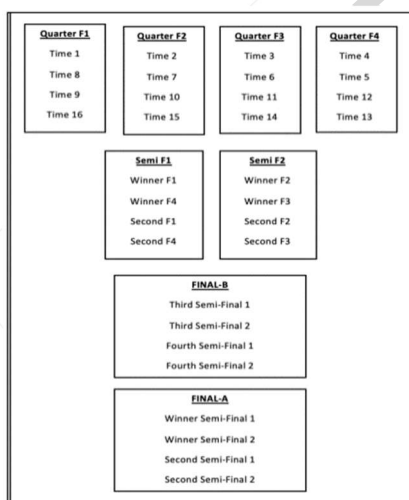
a. スプリントレースである。

b.トラックの場合、レース距離は 2.5 周 (500m)+ストレートの中央までの距離であるため、スタートラインはストレートの中央になる。

- c. ロードでのワンラップレースの場合、スタートラインを変更することができる。
- d. 第1ラウンドは、タイム順での進出である。
- e. 第2ラウンド以降は1位及び2位が進出できる。
- f. ファイナルA とファイナルB があり、それぞれ 4 人のスケーターによって競われる。
(8 位までの着順を決定する)
ファイナルA: 準決勝の1位と2位のスケーター。
ファイナルB: 準決勝の3位と4位のスケーター。

レースの構成

- a. 最初のラウンドはタイム順で 16 人が進出する。予選ラウンドでは、ヒートごとに 6 人以下のスケーターが滑走可能である。
- b. 準々決勝、準決勝、決勝は次の表に従って編成される。
- c. 16 位と 17 位のスケーターが決定できない場合、順々決勝は 17 人のスケーターで競われる。準々決勝の1レース目は、5人のスケーターが滑走する。
- d. スポーツフォールト(失格)の場合、追加のスケーターをヒートに追加することができる。



Quarter final Start line Ranking	Heat 1	Heat 2	Heat 3	Heat 4
Called in first	Best time	2	3	4
Called in second	8	7	6	5
Called in third	9	10	11	12
Called in fourth	16	15	14	13
	17			

116. 1,000m スプリントトーナメントの一般ルール

最大3ラウンドのスプリントトーナメントである。

ヒートの1位及びタイム順で次レースへの進出を決定する。レースは最大8名で実施される。

117. 長距離レース

長距離レースは、トラックでもロードでも実行できる。これらのレースでは、無制限の数のスケーターが同時に参加可能である。コースや道路の広さに対して出場するスケーターの数が多すぎる場合、予選ヒートが行われ、決勝が行われる場合がある。

118. エリミネーションレース

このレースは、レースコースの 1 か所の固定ポイントで 1 人以上のスケーターをエリミネートすることによって実施される。チーフジャッジは、レース開始前にエリミネーションルールを伝達すること。

118.1 レースの最初の 1000m の間はエリミネーションは実施されない。

118.2 各スプリントの 1 周前、先頭のスケーターがフィニッシュラインを通過すると、ベルが鳴る。

118.3 エリミネートされるスケーターは、フィニッシュラインを通過した最後のスケートの後端で決定される。

118.4 転倒や疲労などの理由でスケーターがレースを離れるとき、このリタイアは対応するエリミネートとしてカウントされる。

118.5 エリミネートのスプリント中にスケーターがいずれかの規則に違反した場合、チーフジャッジは最後にフィニッシュラインを通過したスケーターの代わりにそのスケーターをエリミネートすることができる。

118.6 大規模な転倒時、スケーターのグループが同時にリタイアした場合、一部のラップでエリミネーションが一旦停止される。公式アナウンスは、どのラップでエリミネートが再開されるかを発表する。

118.7 エリミネートされたスケーターは、公式のアナウンスによって発表される。

118.9 3 回目の発表後にスケーターがコースを離れない場合、スポーツフォールトで失格になる。(2024 年度から同種次レースへの自動出場停止は廃止)

119. ポイントレース

このレースは、コースの決められた場所で各スケーターがスコアを獲得する。最終ラップ時には、より高いスコアが与えられる。合計ポイント数が最も多いスケーターがレースに勝利する。

119.1 5,000m ポイントレースを除き、レースの最初の1,000mの間はエリミネーションは実施されない。

119.2 最初のスプリントの1ラップ前、先頭のスケーターがフィニッシュラインを通過するとベルが鳴る。

119.3 チーフジャッジにより、スケーターがポイント獲得のスプリント時に違反した場合、チーフジャッジは順位と取得ポイントを変更することができる。

119.4 アナウンスは、各スプリントでポイントを獲得したスケーターのゼッケン番号を仮に通知する。公式判定は、電子写真判定またはビデオスキャナーによる判定後にのみ発表される。

119.5 スケーターが周回遅れになった場合、または何らかの理由(棄権、転倒、追い抜き)でレースを完走しなかった場合、そのスケーターはこのレースで獲得したポイントを失う。

119.6 2人以上のスケーターの間でポイントが同点の場合、最終ラップのフィニッシュラインで先にゴールしたスケーターが勝利する。

120. ポイントエリミネーションレース

このレースは、エリミネーションレースとポイントレースを組み合わせたものである。これは、最後のスケーターまたは最後のスケーターをエリミネーションし、特定のラップで先頭の2人のスケーターがポイントを取得するレースである。このレースの勝者は、レースをすべて滑走し、最高のスコアを獲得した選手である。

120.1 次のラップでポイント獲得のためのスプリントがあることを示すベルが鳴る。レースはポイントを獲得するためのスプリントから始まり、次のラップで敗退が決まる。

120.2 エリミネートされたスケーターは、その時点までに獲得したポイントを失う。

120.3 周回遅れになったスケーター、または何らかの理由(棄権、転倒、追い越し)でレースを完走しなかったスケーターは、その時点までに獲得したポイントを失う。

120.4 決勝ヒートまたは予選ヒートを行う必要があるが、すべてのエリミネーションを実施するにはスケーターの数が不十分な場合、エリミネーションの数は最初のエリミネーション周回を減らすことによって調整される。ポイントの取得回数は変わらない。

121. リレーレース

リレーレースのルールは国際規則の art. 121、161 に従うものとし、必要に応じ大会要項で規定するものとする。

レース

125. コールエリア

125.1 スケーターは、競技会の公式案内から呼び出されたとき、もしくはレース開始の15分前にコールエリアにいないといけない。スケーターが1分間隔で2回コールされた後、コールエリアジャッジに応答しない場合、スケーターはスタートしなかった(DNS)として記録される。第1ラウンド中にレースに参加しなかった登録済みのスケーター(DNS)は、そのスケーターが登録されている次のレース(チームレースを除く)(DNS2)に参加することはできない。

125.2 スケーターは、完全な装備とゼッケン番号を正しく配置して示す必要がある。

125.3 ジャッジは、スケーターを確認し、スタートラインでのスケーターの位置を確認する。ジャッジは、レース器材、ゼッケン番号、トランスポンダー、ウィールサイズの適合性をチェックする。

125.4 各スケーターは、ルールを満たす責任がある。スケーターがそれらを尊重しない場合、テクニカルフォールトにより失格となる(DQ-TF)。

126. スタートラインオーダー

126.1 第1ラウンドでは、スタートラインの順序は、その大会の最初のスプリントレースの順位もしくは抽選等によって決定される。

126.2 ラウンドの結果

スプリントレースでは、ヒートは前のラウンドの結果に従って決定される。前のラウンドの勝者はヒートの先頭になる。スケーターはコールされ、ポジションを選択する。

126.3 予選ヒートの結果：

長距離レースでは、予選ヒートの後、予選ヒートの勝者がスタートラインランキングで1位、2位で2位というようになる。

スタートラインでの資格のあるスタート位置は決まっている。スケーターはポジションを選べない

127. スタートラインオーダー

127.1 スプリントトーナメント(100m、500m+D、1LAP、1,000m)の場合、スケーターはスタートジャッジによってスタートラインの順位によりスタートライン上で1人ずつ呼び出される。スケーターはスタートラインの空いている場所を選ぶ。スケーターの選択によってスタート位置が決まる。

127.2 長距離レースの場合、スケーターはスタータージャッジによってスタートラインの順序によりスタートライン上で1人ずつ呼び出され、内側の端から外側の端まで連続して配置される。

列の数は、レースコースの幅に応じてスターターによって決定され、スケーターの間に0.50mのスペースが取られる。

127.3 スタートラインへのコール。コールエリアがない場合、スケーターがスタートラインで1分間隔で2回コールされた後、スターターに回答しない場合、スタートしなかった(DNS)として記録される。

登録されたスケーターは、最初のラウンド中にレースに出場しなかった場合(DNS)、同じタイプの次のレース(スケーターが登録されているチームレースを除く短距離レースまたは長距離レース)に参加できない(DNS2)。

127.4 スタート手順を再開する状況。

- a. 2人以上のスケーターの間に意図しない障害物がある。
- b. スターターが自動計時の不具合に気づいた場合。
- c. 外部の問題により、レースコースの一部が不適切な場合。
- d. レースの結果に影響を与える可能性があるスタート時(ラウンド、準決勝、決勝)でスポーツ違反が発生した場合。
- e. フォルトスタートが発生した場合
- f. 個人タイムトライアルで、スケーターがラインのルールを無視した場合。
- g. 短距離レースの場合、1人のスケーターの転倒により、スタートラインから100m以内で1人以上のスケーターが転倒した場合。
- h. 長距離レースで、1人のスケーターの転倒により、スタートラインから100m以内に2人以上のスケーターが転倒した場合。
- i. スケーターが「SET」または「ATTENTION」の号令の後に何らかの問題を抱えている場合、手を上げてこの問題をスターターに知らせることができる。
- j. 200m デュアルTTで、スケーターの1人が転倒したことが、他のスケーターの通常のレース結果に影響を与えた場合。影響を受けたスケーターはレースをやり直さなければならない。

127.5 フォルトスタート(FS)により、スターターまたはチーフジャッジの命令によりスタート手順が繰り返された場合。スケーターは、短い経路ですぐに戻らなければならない。スケーターが意図的に再開手順を遅らせた場合、違反したスケーターはフォルトスタート(FS)の判定を受ける

128. 個人タイムトライアルの開始条件

タイムトライアルレースの場合、スタートは次のように実施する。

128.1 スケーターは少なくとも 1 つのスケート靴をスタート ボックスの 2 本の線以内 (70 cm) に置かなければなりません。すべての車輪がレースコースに接触している必要がある。

この規則に従わない場合は、フォルトスタートが宣言される (FS)。

128.2 スタートの開始前、スケート靴は地面から離れることができず、すべての車輪がレースコースに接触したままでなければならない。スケート靴は転がることはできるが、バックラインをカットすることはできない。これらの条件に従わない場合、スケーターにはフォールス スタート (FS) が適用される。

128.3 スケーターの体の動きは許容されます。

128.4 スターターは、スケーターにスタートの許可を出す。スケーターはレースを 15 秒以内にスタートをする。スタートしない場合、フォルトスタートが宣言される。

128.5 スタータージャッジがスケーターのレース中に自動計時の不具合に気付いた場合、このスケーターに対し、必要な休息を取らせた後再度レースを実施するものとする。

129. スプリントトーナメントのスタート手順 (100m、200m デュアル TT、500m+D、1 ラップ)、1,000m を除く

129.1 すべてのスケーターが呼ばれると、スタータージャッジは「IN POSITION」と言ってスタートラインのスケーターの位置に付く許可を与える。スケーターは 5 秒以内にスタートラインで彼らの場所につき、以下の手順でスタートする。

a. 起立

b. スケーターの先頭のスケートはボックスに入っていなければならない、前、横、後ろのどのラインにも触れていてはならない。

c. 2 番目のスケートは箱の内もしくは外のいずれにあってもよいが、横のラインに触れてはいけない。

「SET」の指示で、スケーターは自分の姿勢を取り、静止しなければならない。その後、スターターにより、号砲が発射される。

d. スターターは英語でのスタート指示を基本とする。

129.2 スケーターが「SET」の合図後、問題が発生した場合、スケーターは手を持ち上げて

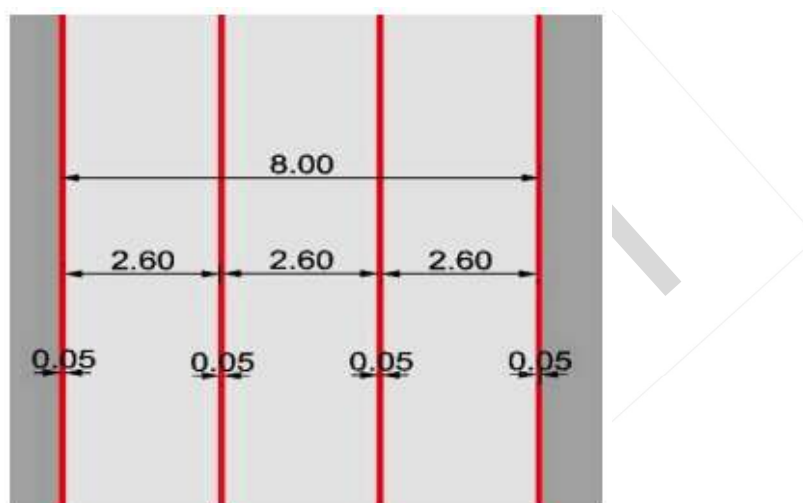
スタータージャッジに合図することができる。これは、スケーターごとに1回だけ可能である。

この場合、スターターはスタート手順を停止し、すべてのスケーターにスタートゾーンを離れるように求め、その後、スターターはスタート手順を再開する。

129.3 1,000m スプリントレース特有のスタート手順。スケーターはスタートラインのそれぞれの場所に立つ。スターターは、「ATTENTION」と号砲によりスタートを指示する。

130. 100m スプリントトーナメントの特定ルール

130.1 2.60m 幅の3コースが、5cmの白線で示される。



130.2 スケーターは自分のレーンでスケートをする。白線に触れたスケーターはレーンを抜けたと判断され(テクニカルフォールト)、DQ-TFで失格になる。

転倒が発生した場合、スケーターは時間欄に DNF として報告される。

131. 長距離レースのスタート手順

131.1 スタートの合図は、スケーターがスタートラインの後ろ、互いに50センチメートル離れたところに立っている状態で行われる。

131.2 スケーターの列は、互いに約50センチメートル離れている必要がある。スケーターはスタートラインの後ろに立つ。スターターは、2つの合図でスタートを指示する。スターターは「ATTENTION」と言い、それから号砲を発射する。

131.3 スタートラインから100m以内で1人のスケーターの転倒により、他の2人以上のスケーターが転倒した場合、スターターまたはチーフジャッジの指示により、スタートは再度実施されなければならない。

132. レースの一時中断

外部から問題によりレース・コースの一部が不適切になった場合、一人もしくは複数人のスケーターの転倒、スケーターの負傷、あるいは微妙な天候条件がレースの正常な実施を妨げる場合、チーフ・ジャッジはレースを一時停止することができる。中断はスケーターに通知される。

132.1 スケーターはスピードを落とし、パック内での位置を維持する必要があります。距離のあるスケーターはパックに参加でき、パックの最後に付かなければならない。

132.2 周回数は一時中断され、エリミネーションとポイントの獲得は無効になる。

132.5 スケーターの転倒によりレースが中断された場合、転倒したスケーターは再開時にレースを続行できない。

132.6 最後の1,000mでは中断は許可されない。

132.7 スプリントトーナメント中は中断できない。

132.9 中断は4分以上できない。

132.10 レース中、2回の中断が許可される。3回目のインシデント(事故)が発生した場合は、レースは中止される。

133. レースの停止

チーフジャッジは、次の場合にレースを中止することができます。

133.1 地面や気象条件により、レースの正常な実施や継続が妨げられた場合。

133.2 スケーターの集団の転倒

133.3 少なくとも1人の応急処置の介入または退避を要する重症なスケーターが発生した場合、レースを中止できる。

タイムによる順位/進出を決めるレースが中止された場合、そのラウンドもしくは決勝に進出済みまたは資格のあるスケーター全員が再び参加する。

134. レースの再開

長距離レースが中止され、同じ競技日中に再開が計画できる場合、レースは停止した時点と同じ状況で再開される。

a. 停止の時点で競技していたスケーターのみが再び参加するものとする。

b. 残りの周回数で実施する。

c. 獲得ポイント(ポイントレース)の変更や削除はなし。

d. スケーター(またはグループ)が先行もしくは逃げでレースをリードした場合、このアドバンテージは彼(彼ら)に設定される(先行した距離の分前からスタートする)。パックはス

タートラインからスタートする。

- e. レースの前半で獲得したポイントは、スケーターによって持ち続けられる。
- f. スケーターの転倒による再開の場合、転倒したスケーターは再開時にレースを続行することはできない
- g. 最初のレース中に失格となったスケーターは、そのレースの再開後にレースに参加することはできない(DQ-TF/DQ-SF/DQ-DF)。

135. レースの再実施

長距離レースが中止され、同じ競技日中に再開が計画できない場合、レースは延期され、最初にスタートしたスケーター全員で完全に再開される。

- a. 最初のレース中に失格となったスケーターは再スタートできない。
- b. 停止中に転倒し負傷したスケーターは、レース再開時にレースを再開することができない。

136. レースのキャンセル

136.1 レースのキャンセルの判断は、チーフジャッジが実施する。

137. ベル

ベルは次のように鳴らされる。

- 137.1 すべてのレースの最終ラップ(個人タイムトライアル 300m を除く)。
- 137.2 ベルは、スケーターの最初のバックに対してのみ鳴る。
- 137.3 エリミネーションレースでは、ベルが次のエリミネーションを示す。
- 137.4 ポイントレースでは、ベルが次のポイントの獲得をアナウンスする。
- 137.5 ポイントとエリミネーションのレースでは、ベルが次のポイントの獲得をアナウンスする。エリミネーションのためのベルはない。

138. ラップスコアラー

138.1 ラップスコアラージャッジは、カバーされたラップ数を示す。スケーターには残周回数が提示される。

138.2 周回数は、最初のスケーターがフィニッシュラインを通過するたびに変わる。

147.3 レースが中断すると、ラップスコアラーは周回数を停止する。

139. フィニッシュラインでの判断

139.1 長距離レース(エリミネーション、ポイント、リレーなど)、予選ヒート、チームタイムトライアル、タイムレースでは、スケーターの順位は、フィニッシュラインを前のスケートの先頭のホイールが通過したタイミングで決定される。

139.2 フィニッシュラインでは、前のスケートは地面と接触していなければならない。前のスケートが地面に接触していない場合、2番目のスケートの最初のホイールの先端が順位を決定する。

139.3 フィニッシュラインで転倒し、スケーターがスケートを地面に付けずにフィニッシュラインを横切った場合、2番目のスケートの最初のホイールの先頭の部分が順位を決定する。

139.4 エリミネーションレースでは、フィニッシュラインを横切る最後のスケートの後ろの部分でエリミネーションが決定される(地面に接触しているかどうかは関係ない)。

140. ランキング

140.1 レースの種類に応じて、ランキングは次のように決定される。

- a. タイムトライアルレースではベストタイムで決定
- b. エリミネーションレースではフィニッシュラインへの着順。
- c. ポイントレースとポイント-エリミネーションレースではポイントの合計。

140.2 ラウンドまたは予選ヒートの場合、敗退したスケーターは以下に従ってランク付けされる。

a. 100メートルスプリントトーナメントの場合

- 決勝戦でないラウンド(シリーズ、準々決勝、準決勝)、
- その対応するラウンドで得られたタイム

b. 500 m +D スプリントおよびワンラップレース、

- 出場資格がないラウンド(予選ラウンドおよび準々決勝)。
- 予選ラウンドでは、彼らのタイム。準々決勝: このラウンドで得られた順位(第1基準)とタイム(第2基準)。

c. 1,000m スピードトーナメントの場合

- 決勝戦でないラウンド(クォーターとセミファイナル)、
- このラウンドで得られたタイム

d. スプリントトーナメントでは、決勝に出場するスケーターのみが表彰台に上げられる。決勝戦で失格があった場合、2人または1人のスケーターだけで表彰が可能である。いずれの場合も、表彰台は最後の位置から最初の位置まで空になる。

e. 同じラウンドで、DNS と同じ技術違反(DQ-TF)、スポーツフォールト(DQ-SF)、懲戒違反(DQ-DF)、または DNS と同と同等の状況(最初のラウンドを除く)があったスケーターは、対応するランキングに設定される。

f. 集団転倒の場合、この転倒に関係するすべてのスケーターは同順位としてランク付けされる。

g. スケーターのグループと一緒にレースを離れた場合(リタイア、脱落、周回遅れ)、または集団で脱落し、正確なフィニッシュ順を決定することができない場合、これらのスケーターはすべて同じ順位にランク付けされる。

h. 結果速報では、短距離レースのみ、レースを完走していないスケーターは時間欄に DNF として報告される。長距離レースでは、何らかの理由(棄権、転倒、脱落、追い越し)で周回遅れまたは出場停止となったスケーターは、レースを離れた順番と逆の順序で順位付けされる。

140.3 降格(RR)がある場合、違反したスケーターは、影響を受けたスケーターのタイムを採用する。違反したスケーターが獲得したタイムは、影響を受けた他のスケーターに採用される。影響を受けたスケーターが2人以上いる場合は、同じ時間を採用し、通過した順にランク付けされる。

141. パックにより周回遅れになったスケーター

141.1 トラックまたはクローズドロードサーキットでの長距離レースでは、パックにラップされた、またはラップされようとしているスケーター、およびレースを妨害する可能性のあるスケーターは、排除される。

審判は短いホイッスルを 2 回鳴らすもしくは放送を使用してスケーターにコースを外れるよう知らせる。

何らかの理由（棄権、転倒、脱落、追い越し）で周回遅れまたは出場停止となったスケーターは、レースを離れた順番と逆の順序で順位づけされる。

141.2 このルールは、スケーターまたはスケーターの小グループがレースをリードし、パックをラップした場合には採用されない。

142. スポーツフォールトによる失格スケーター

スケーターがスポーツフォールト (DSQ-SF) で失格となった場合、スケーターはランク付けされず、同じラウンドでレースを行った次のスケーターがその順位になる。

143. 棄権したスケーター

143.1 何らかの理由で、もしくは転倒でレースを中止することを決定したスケーターは、その順位に従ってランク付けされる。

143.2 レースから棄権するスケーターは、フィニッシュラインに行き、審判団のメンバーに通知して、順位に応じてランク付けする必要がある。そうでなければ、最後尾にランク付けされる可能性がある。

144. マススタートレースでの同着

144.1 スケーターのグループが一斉にフィニッシュラインを通過したため、正確なフィニッシュ順を決定することができない場合、関与したこれらのスケーター全員に同じ順位が与えられる。

144.2 集団転倒の場合、この転倒に関係するすべてのスケーターは同着にランク付けされる。

144.3 同じラウンドでテクニカルフォールト (DQ-TF) で失格となったスケーターは、同着にランク付けされる。

145. タイブレークトライアルとタイムトライアル

タイムトライアルレースでメダルを決定するために、2人以上の選手が同じタイムを獲得した場合、順位を確定するためにトライアルを繰り返すものとする。

146. 結果の承認

146.1 競技結果は、チーフジャッジによる承認と公式発表での公表後にのみ公式になる。

審判団

149. チーフジャッジ

チーフジャッジは審判団を統括し、競技に関する全責任を有する。競技委員長と呼称することもある。

149.1 チーフジャッジは、すべてのスケーターが規則を遵守している中で、競技中に発生する可能性のある本規則中に記載されていない技術的な問題についての決定権を有する。

149.10 チーフジャッジはスポーツフォールトを犯したスケーターに警告を与える。

149.11 失格行為を行ったスケーターを直ちに失格とする。

149.12 ジャッジの警告に従わないスケーターを直ちに失格とする。

149.13 チーフジャッジは失格となったスケーターを直ちに排除し、それが発表されたことを確認する。3 回目の発表の後、レース コースを離れることを拒否したスケーターは、懲戒違反 (DQ-DF) により失格となり、競技会から除外される場合がある。

151. コールエリアジャッジ

コールエリアジャッジは、スケーターを招集し、装備のチェック、スタートラインへのコールを実施する。

152. スタータージャッジ

スタータージャッジは、スタートの指示をする。

155. ラップスコアラージャッジ

ラップスコアラージャッジは残周回を先頭のスケーターに提示するとともにベルを鳴らす。

ジャッジ

157. 反則の定義

157.1 テクニカルフォールト、スポーツフォールトおよび懲戒違反の3種類の反則がある。

158. テクニカルフォールト

テクニカルフォールトとは、技術的スキル、技術的要求、指示、規則、または技術的要件の達成に関連する違反である。

158.1 テクニカルな要求

各スケーターは、テクニカルルールを遵守する責任がある。スケーターがテクニカルルール（ユニフォーム、競技番号、トランスポンダー、スケート、ホイールのサイズなど）を尊重しない場合、違反したスケーターはテクニカルフォールト(DQ-TF)により失格となる。

158.3 ヘルメットを外す

ヘルメットを脱いだり外したスケーターは、テクニカルフォールト(DQ-TF)により失格となる。

158.4 ヘルメットのタイプ

短距離および長距離のレースでは、ハードヘッドギアは通常の形状でなければならない、突起や端があってはならない。この規則を尊重しないスケーターは、テクニカルフォールト(TF)になる。

159. フォルトスタート

159.1 一般規則：

- a. スタータージャッジは、スケーターにフォルトスタートを明示的に知らせる。2回目のフォルトスタートの場合、失格を明示的に告知する。
- c. 一方のスケーターがフォルトスタートを行い、それによってもう一方のスケーターがそれに続く場合、最初のスケーターだけに、フォルトスタートが1つ与えられる。
- d. 同じレース(ヒートとファイナル)で2回のフォルトスタートを犯したスケーターまたはチーム(リレー)は、DQ-TFの失格となる。
- e. いかなるレースにおいても、フォルトスタートの場合、スタータージャッジはスケーターをスタートラインにコールバックしなければならない(1回または2回の号砲または2回の笛)。スケーターは彼らのスタート位置に速やかに戻り、スタートをしなければならない。
- f. スタート手順中に、同時に状況が発生した場合、複数のスケーターがフォルトスタートを受ける可能性がある。

159.2 単距離レースのフォルトスタート

- a. フライング：スケーターが号砲がなる前に移動またはスタートしたとき。
- b. 非静止：スケーターが想定されたスタート位置で静止していない場合。
- c. ラインへの接触：最初のスケートがボックスに入っていないか、前、横、またはバックラインに触れている場合。または、2番目のスケートが横のラインに触れている場合。
- d. スタート前の動き：スケーターがスタート手順中に勢い、力、推進力、動きの速度を得るために静止しておらず、体を後ろに引くとき。300m タイムトライアルを除く。
- d. ゆっくりとした動き：スケーターがスタート手順中に勢い、力、推進力、動きの速度を得るために静止しておらず、ゆっくり沈み込む場合。300m タイムトライアルを除く。
- e. スターターの命令：スケーターがスターターのコール時、ボックスに入らない場合。
- d. 速やかな再開：スタート手順が繰り返され、スケーターが意図的に短い経路ですぐに戻らず、再スタート手順が遅れた場合。
- e. 遅延：（短距離レースで）SET の指示の後にスケーターが自分の行動によって意図的にスタート手順を遅らせた場合。

159.3 個人タイムレース

- a. スケーターが後方ラインを横切ると、フォルトスタートが通知される。
- b. 予選ヒートでは1回のフォルトスタート、決勝では1回のフォルトスタートのみが許可される。

159.4 単距離レース

一回のみのフォルトスタートが予選、決勝を通して許可される。

159.5 長距離レース

一回のみのフォルトスタートが予選、決勝を通して許可される。

160. スケートコースの逸脱(内線、外線突破)

160.1 スケーターは、コースを区切る線の外側の地面にローラースケートで触れることはできない。距離を縮めたり、順位を上げたりするために意図的にこの規則に違反したスケーターは失格となる(DQ-TF)。この違反が、スケーターが大量に転倒しているときや、転倒を避けるために行われた場合は、ジャッジが判断を下す。

160.2 タイムトライアルレースでは、スケート禁止ゾーンにストライプがない場合、またはスケーターに有利な場合、スケートコースからの逸脱はスケーターの失格(DQ-TF)として認められる。

160.3 100m スプリント競技では、2本の白線間のレーンがレース・コースとなる。ラインに触れた場合は、レースコースから退出したとみなされ、この違反を犯したスケーターは失格となる(DQ-TF)。

転倒により発生した場合、スケーターは時間欄にDNFとして報告されます。

162. スポーツフォールト

スポーツフォールトは、フェアプレーに対する意図的な過失である。

本ルールブックでは国際規則における「voluntary」を「意図的」と訳す。意図的なルールに対する違反をスポーツフォールトと概念的に定義する。

利益を得るために不公平で名誉に反する方法でスケーターが状況に参加し、ポジションを争ったりする場合に適用される。

a. すべての状況は審判によって評価され、チーフジャッジに通知されます。チーフジャッジは、スポーツフォールトを犯したスケーターに制裁を科す。

b. スケーターがレースで3回の警告を受けた場合（予選ヒートと決勝で累積）、違反したスケーターはスポーツフォールト(DQ-SF)により失格となる。

c. スケーターが意図的で危険と見なされる違反を犯した場合、違反したスケーターはスポーツフォールト(DQ-SF)によって失格となる。

以下の行為はスポーツフォールトとみなされる。

162.1 コースからの意図的な逸脱

スケーターが審判団の許可なしに、または審判団の指示に反してレースコースを離れ、開催中のレースを妨害した場合、違反したスケーターはスポーツ違反(DQ-SF)により失格となる。このアクションがチームメイトへのサポートとみなされた場合、チームフォールトの違反ルールが適用される。

162.2 コースの意図的なショートカット

スケーターがレースコースを離れ、別のポイントでレースに戻った場合、それを利用したりポジションを獲得したりする場合（審判団の指示がない限り）、違反したスケーターはスポーツフォールト(DQ-SF)により失格となる。

162.3 逆走

トラックまたはロードクロズドサーキット競技の場合、レースの進行方向は反時計回りとする。このルールを意図的に尊重せず、ポジションを利用したりポジションを獲得したりするスケーターは、スポーツ違反(DQ-SF)により失格となります。

162.4 スタート手順中のスポーツ違反

レースの結果に影響を与える可能性のあるスタート手順(ラウンド、準決勝、決勝)中に意図的なスポーツ違反が犯された場合、違反したスケーターはスポーツ違反(DQ-SF)によって失格となる。

162.5 資格のある(次レースへの進出)位置にいるスケーターに対する失格行為

予選ラウンドで、スケーターが予選順位のスケーターに対して違反を犯し、被害者のスケーターがチーフジャッジによって次のラウンドに進められた場合。

163. 特定のスポーツフォールト

問題を起こす身体接触やスケーター間のあらゆる種類の問題を起こす行動は、スポーツの過失とみなされる可能性がある。

- a. つかむ：突然または乱暴につかむこと。
- b. ヒッピング：スケーターが他のスケーターに対して優位に立ったり、他のスケーターの進歩を妨害したりするために、意図的に腰を使用すること。
- c. ジャミング：スケーターが突然減速し、後続のスケーター同士が衝突する原因になること。
- d. ホールディング：手、腕、または脚を使用して、対戦相手を妨害し、一時的に遅らせること。
- e. 妨害：他のスケーターの妨害となるように、手や肘を伸ばして滑ったり、手や肩を何らかの方法で使用したりすること。
- f. プリング：他のスケーターを自分の方、特定の方向もしくは特定の位置に引き寄せたり、引っ張ったりすること。
引き戻すもしくは引っ張り下ろす行為。
- g. シャトルスケーティング：後ろにいるスケーターを妨害する左右の異常な動き。

164. スポーツフォールト - 軌道修正(斜行)及び妨害

スケーターは、想像上の最も短い線に沿ってゴールする。

いかなる場合も、スケーターは他のスケーターを押したり、前を横切ってはけない。また、スケーターを押したり、妨害したり、助けたりすることも禁止される。いかなる場合も、他のスケーターの追い越しが他のスケーターに困難を引き起こしてはならない(強制通過/パックへの強制参入)。



a. レースをリードするスケーターは、次点者を妨害してはならず、ループや横方向の逸脱のないまっすぐな道を進み続けなければならない。(ポイント・エリミネーション含む)ゴールのスプリントで、複数のスケーターと一緒にフィニッシュラインに入る場合、正しい軌跡を通してフィニッシュラインに到達する必要がある。



b. 降格: ヒートおよび決勝中、スケーターが最後のスプリントでループや横方向の逸脱などで次点者を意図的に妨害し、次点者がゴールラインに到達するのを避けるために、追い抜きを妨害した場合、降格(RR)が適用される場合がある。

これは、違反したスケーターが押したり、カットしたり、転倒したり、他のスケーターの配置に影響を与えたり、利益をもたらしたりしていなかった場合にのみ可能である。

以下は、軌道修正(斜行)と妨害としてスポーツフォールトとみなされることがある。

a. ブロッキング: 身体接触の有無にかかわらず、あるスケーターが別のスケーターを追いつぶるのを防ぐために使用する不自然な方法。レース中、合理的なコースをたどらず、ジグザグに滑走する等。

- b. エルボー:他のスケーターの進行を妨害するために肘を使用すること。
- c. プッシング:あるスケーターが別のスケーターに対して意図的に体を接触させ、スケーターを動かすために力を込めて押し付けること。
- d. ライドイン:トラックの外側からのスケーターの体の接触により、別のスケーターがトラックの内側に追いやられること。
- e. ライドアウト:スケーターの身体がトラックの内側から接触し、別のスケーターがトラックの外側に移動することを強いる。
- f. 突き飛ばし:レースでの進行を妨げる意図で、意図的に他のスケーターを突き飛ばすスケーター。
- g. トリップ:転倒の結果であるかどうかにかかわらず、あるスケーターによる別の足場を妨害する意図的な行動。
- h. ウィービング:トラックの直線を滑走する際の、スケーターの不規則または不必要な左右の動き、一種のブロッキング。
- i. 通行権妨害:先行するスケーターが周回遅れのスケーターを追い越す際に、遮るものがないトラックを通行する特権を妨げる行為。(この特権は、先頭のスケーターが周回遅れのスケーターを押ししたり、接触したりすることを許可するものではない)

165. スケーターへの支援

- 165.1 スケーターはいかなる種類の援助の受け入れもしくは提供を固く禁じられている。
- 165.2 転倒した場合でも、レースを続けることができるスケーターは、第三者の助けなしに立ち上がらなければならない。それ以外の場合、スケーターは失格となる。
- 165.3 スケーターは、トレーナーまたはコーチからアドバイスや情報を受け取ることができる。
- 165.4 マラソンまたは長距離レースの間、スケーターは水、食料、または装備を修理または交換するための道具を受け取ることができる。

166. チームフォールト

チームフォールトには2つのタイプがある。

166.1 チームフォールト1

- スケーターAが、チームメイト(スケーターB)に1つ以上のポジションを獲得させるために、意図的なスポーツフォールトを行った場合。
- 違反を犯したスケーターAは、スポーツフォールトまたは規律違反(DQ-SF/DQ-DF)により失格となり、技術委員会によって競技会全体から除外される場合がある
- フォールトの恩恵を受けるスケーターBは、降格(RR)される。

166.2 チームフォールト2

- 2.A - 2人のスケーター(AとB)が、他のスケーターが追い越すのを避けたり妨げたりして、1つ以上のポジションを獲得するために、身体的に一緒に行動する意図的なスポーツフォールトを犯した場合。
- 2.B - 2人のスケーター(AとB)が、チームメイト(スケーターA-B)が1つまたは複数のポジションを獲得できるようにするために、物理的に協力して(チームメイトを引っ張るためにリレーまたはグラブする)意図的なスポーツ違反を犯した場合。
- スケーターAとBはスポーツ違反または規律違反(DQ-SF/DQ-DF)により失格となり、技術委員会によって競技全体から除外される場合がある。

167. 処罰

審判団の指示やスポーツ倫理の原則に違反した責任のあるスケーターに対して、競技中にチーフ・ジャッジが採ることのできる処罰は以下の通り。

- a. フォルトスタート
- b. 警告 (W) ;
- c. 着順の降格 (RR)。
- d. レースからの失格 (DQ-TF/DQ-SF/DQ-DF) ;
- e. スタートしない 2 (DNS2)
- f. 出場停止。

168. 警告

168.1 このルールブックに明示的に含まれている場合に加えて、テクニカルフォルトおよびスポーツフォルトに対して警告が発せられる場合がある。

168.3 警告は予選ヒートと決勝で累積される

178.4 スポーツフォルト (SF) に対する警告が、スプリントレースにはない。

169. 降格

169.1. レース中、スケーターが 1 人または複数の対戦相手に対して違反を犯した場合、審判長の決定に従って順位を下げることもある。ポイントやエリミネーションを目的としたスプリント中にも適用されうる。

169.2. 意識的でないゴール/スプリント時の行為がスケーターの順位を妨げた場合、制裁として降格 (RR) が適用されることがある。軌道修正 (斜行) と妨害のルールを参照。

169.4. 降格 (RR) がある場合、違反をしてスケーターには影響を受けたスケーターのタイムが割り当てられる。違反をしたスケーターのタイムは、影響を受けたスケーターに割り当てられる。

170. 失格

失格措置はチーフジャッジによって決定され、採用される場合がある。

170.1 テクニカルフォルトによる失格 (DQ-TF) :

- a. 同一ラウンド内で 2 回連続してフォルススタート (300m) (FS) を行った場合。
- b. スケーターが 2 回のフォルススタート (FS) を行った場合。
- c. スケーターが間違ったりレーを行った場合 (プルまたはタッチリレー、リレーゾーンからリレー、リレーなしでリレーゾーンに入る)、すべてのチームが失格となる (art. 130)。
- d. 100 メートルのスプリント中にスケーターが自分のレーンから出た場合、その選手は失格となる。(ラインに触れ、レースコースを出る) ;

- e. タイムトライアルレース中、スケート禁止ゾーンに進入防止の縞模様がない場合、またはスケーターに有利な場合に、コースを区切るラインの内側を横切り、外側の地面を滑走した場合。
- f. 短距離および長距離のレース中、スケーターがコースを区切るラインの外側で意図的に地面を滑り、優位に立ったり、順位を獲得した場合。
- g. ヘルメットを外した場合。
- h. 技術規則を尊重しない場合。
(ユニフォーム、ゼッケン、トランスポンダ、スケート、ウィールサイズ等の競技規則)

170.2 スポーツフォールトによる失格：

- a. スケーターが意図的に危険であると見なされる1つの違反を犯したとき。
- b. スケーターがレースで3つの警告を受け取ったとき(予選ヒートと決勝で累積される)。
- c. スケーターが意図的にレースコースから出たとき。
- d. スケーターが意図的にレースコースを離れてショートカットした場合。
- e. スケーターが意図的にレースの方向を尊重せず、優位に立ったり、順位を獲得したりした場合。
- f. 降格(RR)を適用できない場合。
- g. スタート手順中のスポーツフォールト。
(意図的にスタートを阻害した場合等)
- h. 資格を有するにある(通過位置にいる)スケーターに対する失格行為。
- i. スケーターがポジションを獲得したりポジションを獲得したりするために、他のスケーターから意図的に支援を受ける場合。
- j. スケーターが転倒した場合、立ち上がって続行することができず、第三者の助けを受けた場合。
- k. スケーターが他のスケーターに有利な立場を与えるために意図的に身体的援助を提供する場合。
- l. 転倒した場合、スケーターが立ち上がって続行できない場合、意図的に身体的援助を提供したスケーターは制裁を受ける。

171. 出場停止

- 171.1 スケーターが懲戒違反(DQ-DF)により失格となった場合、そのスケーターは登録されている次のレース(チームレースを除く)が出場停止となる。

172. 公式発表

処罰はチーフジャッジによって採用され公表される。レースの公式結果について、次のように通知する必要がある。

1. (W1) (W2) 1 つまたは 2 つの警告。
2. (FS1) 最初のフォールトスタート。
3. ランクを下げるための (RR)。
4. (DSQ-TF) テクニカルフォールトによる失格。失格となったスケーターは、ヒートまたはラウンドの最後の順位にランク付けされる。
5. (DSQ-SF) スポーツフォールトによる失格。失格となったスケーターはランク付けされず、公式結果の最後に失格として位置づけられる。一般ランキングの場合、そのスケーターはポイントを獲得できない。
6. (DQ-DF) 懲戒違反により失格。失格となったスケーターは順位付けされず、スポーツ違反による失格に続き失格として公式結果の最後に置かれる。総合順位の場合はポイントを獲得できない。
7. (DNS) スタートしない場合。
8. (DNS2) スタートしない場合。
9. (DNF) ゴールしない場合。

173. 処罰とランキング

173.1 フォールトスタート (FS) はレースごとに 1 回のみ許可される (300mTT を除く)。スケーターがレースで 2 回目のフォールトスタート (FS) を犯した場合、技術的過失 (DQ-TF) により失格にされる。ラウンドの最下位にランクされる。

スケーターが意図的なスポーツフォールトを犯した場合、チーフジャッジはスケーターを失格にすることができる (DQ-SF)。スケーターが規律違反を犯した場合、チーフジャッジはスケーターを失格とします (DQ-DF)。

173.2 スポーツフォールトが意図的ではないと判断された場合、予選ヒートまたは決勝にて降格 (RR) が適用されることがある。チーフジャッジは、適格な定義がないポジションで違反が発生した場合でも、ランクを下げるすることができます。

軌道修正 (斜行) や妨害によるスポーツフォールトには、対応するルールが適用される。着順の制裁手順については、ランキングに関する記載を参照。

173.3 予選通過位置のスケーターが、予選ラウンドの最中に別のスケーターの反則の被害者となった場合、チーフジャッジは、最後の予選通過を獲得したスケーターのタイムをもって、そのスケーター、またはリレーレースの彼のチームを次のラウンドに進めることができる。

懲戒

174. 懲戒違反

懲戒違反とは、スケーターが敵対的な衝動または根深い悪意から、計画的または突然の攻撃によって、他人に怪我、危害、苦痛を与えようとする行動をとった場合の、フェアプレーに反する過失のことである。

175. フェアプレー

フェアプレーとは、敬意を意味する。

フェアプレーとは、対戦相手、ジャッジ、ルールを尊重し、スポーツの精神に従うことを意味する。それは勝利への野心を超えるものである。

また、対戦相手やジャッジを混乱させるチート、トリック、またはシミュレーションを行わずに、公正なプレーを実践し、競技の参加者を怒らせたり、屈辱を与えたり、虐待したりせず、尊厳を持って敗北を想定し、敬意を持って勝利を楽しむことである。

すべてのスケーターは公平かつ熱心にレースに参加しなければならない。消極的な態度や明らかに能力の欠如を示した者は、競技から排除されたり、レースが中止される場合がある。

176. 冒瀆的な行為

いかなる競技においても冒瀆的な言葉の使用は認められない。これは懲戒違反とみなされる。

177. 攻撃性

違反が攻撃的である場合、それは懲戒違反(DQ-DF)であり、それを判断するのはチーフジャッジの責任である。

178. 審判員の指示を尊重しない

スケーターが審判/チーフジャッジの指示またはオフィシャルアナウンサーの発表を尊重しない場合、そのスケーターは処罰を受ける。

179. 審判員に対する不正行為

179.1 競技会の前、中、後に、審判がスケーター等による、いかなる種類の攻撃または暴力の影響を受けた場合、チーフジャッジに報告することができる。

180. 懲戒手続き

180.1 チーフジャッジは審判団とともに懲戒違反の判断を行い、懲戒違反を犯した者はチーフジャッジによって制裁内容を告知される。

この際、チーフジャッジは懲戒違反を犯した者に対し、違反に関する説明を実施しなければならない。この過程で懲戒違反に問われた者は自身の状況の説明ができるものとする。

182. 懲戒処分

チーフジャッジが採用できる懲戒処分は次のとおりです。

1. 当該競技会からの排斥
2. 大会の一定期間の出場停止

183. 当該競技会からの排斥

非常に重大な違反の場合、スケーターは競技会から排斥されることがある。

184. 出場停止

国際規則には加えて最大6ヶ月の出場停止の権限が設定されており、本項を採用するが、ドーピング違反といった重大な違反があった場合は適用されうるが、本項についての適用に関しては慎重に検討を実施すべきである。

186. 異議申し立て手続き

各チーム、選手は競技中に自身のレース結果に対し、代表者を通じて異議申し立てを行う権利を有する。異議申し立ては、可能な限り審判団が準備する用紙に記入し、3,000円の手数料を加えて提出すること。異議が認められた場合は、手数料は返却される。

尚、判定に対する質問については上記の手順は適用されないが代表者を通じて行うこと。

187.2 異議申し立てはレース終了後、30分までを基本とし、それ以降は認めないものとする。

略語

IOC：国際オリンピック委員会

WADA：世界アンチ・ドーピング機関

DCO：ドーピング管理官

TC：技術委員会

YOG：ユースオリンピック

LOC：地域組織委員会

NGB：国内競技連盟

BT：ベストタイム

WT：勝利タイム

QT：予選タイム

FS：フォールトスタート

DQ-TF：テクニカルフォールトによる失格

DQ-SF：スポーツフォールトによる失格

DQ-DF：懲戒違反による失格

NSZ：スケートニング禁止ゾーン

DRAFT

2024年度 ワールドスケートジャパン スピード競技 スケジュール(案)

2024年2月1日

ワールドスケートジャパン スピード委員会

2024年度のスピード競技に関する予定案を下記に示します。

- 第69回全日本トラックレーススピード選手権大会 2024年4月13~14日
場所：東京都江戸川区 水辺スポーツガーデンリンク
- 強化合宿(春季) 2024年5月3~5日
場所：岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場
- 第19回全日本ロードレース選手権大会 2024年5月25~26日
場所：岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場
- World Roller Games 9月(詳細未定)
場所：イタリア ローマ
- 第68回東日本スピード選手権大会 未定(11月を予定)
場所：未定
- 第53回西日本スピード選手権大会 未定(11月を予定)
場所：蘇南公園 ローラースケート場
- 第29回全国ローラーマラソン大会 12月22日
場所：平田リバーサイドプラザ(岐阜)

いずれも予定です。変更の可能性があることをご了解願います。

適宜、要綱を公表させていただきます。

以上